

# 湊標まつり

てんこ盛り  
「エエところ」  
大阪

主催：湊標会（湊標執筆者の会）  
後援：大阪日日新聞

<第一部>

## 浪速の伝統芸能

15時～15時45分

ちんどん（ちんどん通信社代表・林幸治郎&社中）  
日本民謡俗曲芸道小椋流三味線談義（小椋流家元・小椋聖山）

<第二部> パネルディスカッション 15時45分～17時10分

## 「エエところ大阪！今昔と明日へ」

※プロフィールは裏面に記載

大阪大好きの6人衆が勢ぞろい。昔話からホットな今、更に希望の明日へ興味津々の話題。



司会：桶村久美子



秋田光彦



堀井良殷



原田彰子



八木孝昌



森井マスミ



釜中明



平成29年 2月25日(土)

受付開始 14時半 開演 15時  
17時10分終了  
(ギャラリーは17時50分まで)

会場 新大阪ワシントンホテルプラザ

2階サファイアホール  
大阪府大阪市淀川区西中島5-5-15  
【TEL】06-6303-8111

JR「新大阪駅」1階正面口より徒歩約5分  
地下鉄御堂筋「新大阪駅」7番出口より徒歩約5分

前売 1,000円  
当日 1,300円

申込み 先着順。お席なくなり次第終了となります。申し込み方法は裏面に記載。

問合せ 06-6773-3423 (いい家塾 10:00～17:00まで)

## 「濡標まつり」について

濡標（みおつくし）は船に水路を知らせる杭。これが大阪市の市章にもなった大阪のシンボルです。「大阪日日新聞」にコラム「濡標」が平成15年にスタート。今日まで各界の有識者264名が専門分野の情報や意見を各5回執筆。今や全国紙に無い名物コラムになりました。執筆者の交流の場として「濡標交流サロン」が誕生。第5回を記念して開催するのが“大阪でんご盛り”を合言葉にした「濡標まつり」です。とっておきの「浪速の伝統芸能」と「パネルディスカッション」を、全員執筆者が熟演します。折角の機会ですので皆さまにも楽しんで頂きたいとの願いからオープンにしました。賑々しくご来場をお待ち致します。

### ＜第一部＞浪速の伝統芸能 演者

小椋聖山：日本民謡俗曲芸道小椋流家元

東京芸術大学音楽部邦楽科長唄三味線専攻を卒業。NHK邦楽オーディション合格。日本芸能実演家団体協議会関西常任幹事をしている。三味線談義創始者として独創的な舞台を創作「三味線談義」とは、唄と三味線、台詞を自由自在に操る一人芝居。題材は平安時代の鬼退治から江戸時代の色物や怪談、はたまた明治大正昭和を題材にした人情噺など様々な趣向を凝らす。上平真央の助演でライブ書道も行う。市川聖山改め小椋聖山です。

林幸治郎：大阪発祥「ちんどん」 ちんどん通信社代表

1956年福岡県生れ。立命館大学経営学部卒業。1981年より青空宣伝社で修行。1984年「ちんどん通信社」として独立。1994年有限会社東西屋代表現在に至る。大商大付属高校デザイン科講師。岸和田市観光振興計画策定委員。著書に「ぼくたちのちんどん屋日記」「ちんどん屋です」「ちんどん屋幸治郎」がある。海外公演はフランス、アメリカ、ニュージーランド、韓国など。昨年はアメリカ公演、日本領事館主催「JAPAN FESTIVAL」シンガポール「国際芸術祭」がある。

### ＜第二部＞パネルディスカッション「エエとこ大阪！今昔と明日へ」パネリスト

秋田光彦：大蓮寺&應典院住職 パドマ幼稚園園長

1955年大阪生まれ。浄土宗大蓮寺住職。1997年同寺塔頭寺院應典院を再建、同院は年間3万人の若者が集まるNPOとアートの拠点として知られる。また、大蓮寺エンディングを考える市民の会では、コミュニティケアとエンディングサポートの啓発に取り組む。伝統の死生観に包まれた上町台地をこよなく愛する。著書に「葬式をしない寺」「今日は泣いて、明日笑いなさい」編著に「生と死をつなぐケアとアート」などがある。相愛大学客員教授。

堀井良殷：公益財団法人 関西・大阪21世紀協会 理事長。心学明誠舎 理事長

1936年奈良県桜井市生まれ。東京大学卒業後NHKに入社。ドキュメンタリー番組を担当し調査報道番組で受賞多数。ニューヨーク特派員、NHK大阪放送局長、理事・営業総局長を経て、2001年より大阪21世紀協会理事長。“水の都大阪”運動を提案・推進にあたる。関西経済同友会水都大阪推進委員長、大阪文化祭賞運営委員会会長、北前船フォーラム代表幹事など。著書は「EXPO70への道」「公枝」（きみえ）～48年目の真実～「なにわ大阪興亡記」「こころをみがく」などがある。

原田彰子：熟塾 代表 季刊誌「大阪春秋」編集委員

1958年大阪生まれ。商社勤務の傍ら1994年10月に大阪から情報を発信する文化活動グループ「熟塾」を旗揚げし、関西の歴史探訪イベントや介助犬シンシアや阪神大震災のチャリティを開き2004年なにわ大賞を受賞。活動を通して25歳の自作をベルリン・フィルで指揮し28歳で夭折した大阪生まれの天才音楽家貴志康一と出会う。2017年ザ・シンフォニーホールで代表歌曲「かごかき」を歌い顕彰活動を展開。「熟塾」の名付け親は藤本義一先生。<http://www.jukujuku.gr.jp/>

八木孝昌：帝塚山学院大学生涯学習センター講師 文学博士

1941年京都生まれ。大阪市立大学経済学部卒。大阪市立大学生協専務理事、大学コンソーシアム大阪事務局長、帝塚山学院常務理事を経て、現在、帝塚山学院大学生涯学習センター講師。他に、一般財団法人大阪教育文化振興財団理事、一般財団法人住吉村常盤会評議員、帝塚山派文学学会運営委員をしている。著書に『大阪府生活協同組合連合会50年史』『解析的方法による万葉歌の研究』がある。

森井マスミ：愛知淑徳大学准教授 演劇・短歌・日本近代文学

大阪生まれ。子供の頃文楽劇場あたりが遊び場で文楽好きに。歌人の塚本邦夫に師事。愛知淑徳大学准教授。歌誌「玲瓏」編集委員。週末は東京で現代演劇中心に舞台観劇。「シアターアーツ」等に劇評を発表。唐十郎の舞台は、10代の頃生國魂神社境内のテントで見えて以来ずっと見ている。新派の名優・喜多村緑郎が遺した日記の翻刻も手掛けた。歌人として活動、現代短歌評論賞、現代歌人集會賞など受賞。最近の歌集に「まるで世界の終りみたいなの」がある。

#### 司会

桶村久美子：フリーアナウンサー・カラーアナリスト

朝日放送アナウンサーを経てフリー。米国カラーミーアシーズン社認定カラーアナリスト、文部科学省認定1級色彩コーディネーター。化粧品の商品開発や老人ホームなどの色彩を手掛ける。ABCラジオ「メモリーズオブユー」（毎週日曜午後5時から）パーソナリティ、日本ベンクラブ・企画事業委員。著書は電子書籍「似合う色がわかる本 Version2」「きれいになる色の魔法」、書籍「色の法則」河出書房新社。HP <http://www.shikisai-ok.com>

#### 申込み方法

前売り券のお申込みは、FAX、メールいずれかの方法で、①お名前②電話番号③住所（入場券送り先）④枚数と合わせて「濡標まつり申し込み」とご連絡ください。入場券到着後一週間以内に下記口座にお振込みください。2017年2月18日以降お申込みの方は、25日当日受付にてお支払い、入場券引き渡しを行います。

FAX 06-6773-3420

メール [kamanaka@aiss.jp](mailto:kamanaka@aiss.jp)

#### 振込み先

濡標交流サロン宛

ゆうちょ銀行からは0970-8-303291 他銀行からは〇九九(せ) 〇七(しち) 〇九(く) 〇九(く) 店 当座 0303291

#### 濡標ギャラリー

濡標執筆者による出版物、工芸品、商品、美術作品、PR資料等の展示を行っております。

会場 同2階「牡丹の間」

時間 14時30分～17時50分

#### コーディネーター

釜中 明：一般社団法人 いい家塾 代表理事 塾長

1941年奈良県桜井市生まれ。24歳の時大阪住之江区で輸入木材業を創業。海外での木材開発や経営コンサルティング業も体験。家を買って後悔する人を無くす為「良品と悪品」を峻別できる賢明な消費者の排出の為、「いい家塾」の講座を開講し620名が卒業。塾生の要望でいい家造りも手伝う。著書は「家造りの教科書Ⅰ」新刊書「いい家塾の家づくり」後悔しない家造りの教科書Ⅱ（日本図書館協会選定図書）がある。人と住まいの関わりを描いた映画「木霊」を制作。「日本ベンクラブ」上方文化人川柳の会「相合傘」会員。

観て行って！